



Press Information

VPR08-015
2008年4月4日(金)
フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン ブランド 2007年度登録実績でも「輸入車No.1」 **環境と走りを両立した「TSI」+「DSG」搭載のゴルフシリーズが牽引**

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:ゲラシモス ドリザス)が2007年度(07.04～08.03)に日本国内で販売したフォルクスワーゲン ブランド乗用車の登録台数が51,617台¹(純輸入車シェア:22.9%)となり、暦年実績(07.01～07.12:51,974台)に続いて「年度」でも8年連続「輸入車ブランドNo.1」になりました。また同日、日本自動車輸入組合(JAIA)が発表した今年1月から3月までの「輸入車モデル別販売台数」では、「ゴルフ」シリーズが7,396台と首位を守り、こちらもJAIAが「輸入車モデル別販売台数」の統計を取り始めてから2003年以降、連続して「人気No.1モデル」であり続けています。

今年2月からVGJの代表取締役社長に就任したゲラシモス ドリザスは、「全需がマイナス成長の中で、8年連続して『輸入車ブランドNo.1』のポジションを堅持し続けていることは、お客様は勿論のこと、全国の販売店やVGJにとりましても大変喜ばしいことです。今後もフォルクスワーゲンは、環境に優しく、お客様がお買い求め易い、高品質な車を幅広く取り揃えていきます」とコメントしています。

VGJの順調な国内販売を支えているのが、昨年からの積極的なモデル展開が始まった「TSI」エンジン及び「DSG」トランスミッション搭載車シリーズです。「高性能&低燃費」が話題の「TSI」シリーズは、昨年2月に販売を開始した「ゴルフGT TSI」を皮切りに「ゴルフ トゥーラン」「ゴルフ ヴァリアント」などが導入され高い人気を博しています。昨年の導入開始からこれまでの約1年間に「TSI」シリーズは、約1万9千台が登録されています。

今年中ごろには1.4L「TSI」エンジンの第2ステップとなる122馬力仕様の「TSI」に7速DSGを組み合わせたモデルの導入を予定しています。また今年後半には、「TSI」エンジン搭載車では初となる4WDモデル、新型コンパクトSUV「ティグアン」が導入予定であり、さらに、現行「パサート」ベースのスタイリッシュな新型上級4ドアモデルも投入する予定です。このほかにも特別仕様車や限定車の準備も進めており、魅力的な商品展開と質の高いサービスを通してお客様満足度を高めると共に、新しいフォルクスワーゲン ユーザーのさらなる獲得を目指します。

TSI, DSGはフォルクスワーゲン グループの登録商標です。

1 JAIA(日本自動車輸入組合)調べ (2007.4 - 2008.3 新車登録実績より)